

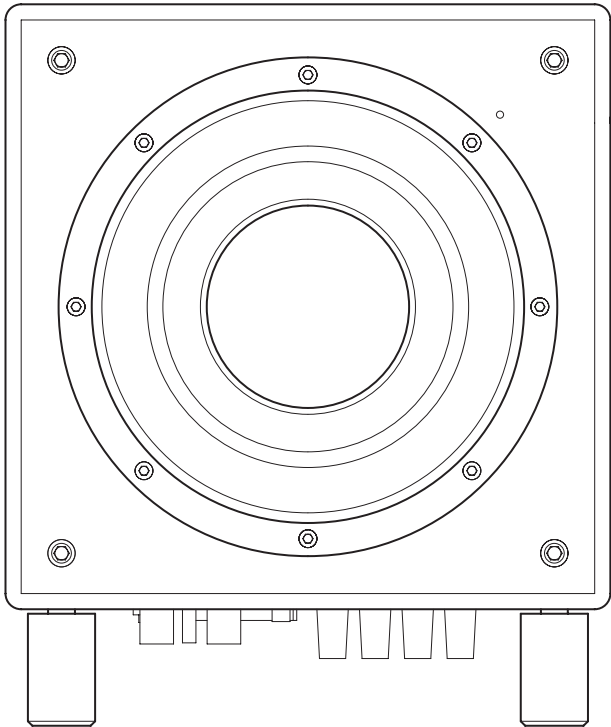
TEAC

SW-P300

取扱説明書

サブウーハー





ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



安全にお使いいただくために.....	2	接 続.....	10
付属品	5	セッティング	12
ユーザー登録について.....	5	困ったときは	13
お使いになる前に.....	5	仕 様.....	14
設置	7	保証とアフターサービス.....	15
各部の名称	9		

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<h2>警告</h2> <p>以下の内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。</p>
	<p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（5cm 以上）離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあける すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
 <p>指示</p>	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年 1 回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>



警告

以下の内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



禁止

機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない
内部に水が入ると火災・感電の原因となります。



分解禁止

この機器のカバーは絶対に外さない
カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。

この機器を改造しない
火災・感電の原因となります。



注意

以下の内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



電源プラグを
コンセントから抜く

移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す
ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く
通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。



指示

オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する
また、接続は指定のケーブルを使用する

電源を入れる前には、音量を最小にする
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする
異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。

この機器には、付属の電源コードを使用する
それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。

安全にお使いいただくために（続き）



注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない
湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない
火災・感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



音のエチケット



愛情点検

内部にほこりがたまったり、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。特に、湿気が多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

5年に1度は、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。

付属品

万一付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室（裏表紙に記載）にご連絡ください。

電源コード x 1
フロントグリル x 1
グリル固定ピン x 4
アルミ製フット x 4
ナイロンワッシャー x 4
RCA オーディオケーブル (3m) x 1
スピーカーケーブル (3m) x 2
クリーニングクロス x 1
取扱説明書（本書、保証書付き）x 1

ユーザー登録について

TEAC のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。
<http://teac.jp/support/registration/>

お使いになる前に

使用上の注意

- エンクロージャー（キャビネット）やフロントグリルに硬いものを当てないでください。傷がついたり、スピーカーユニットが損傷する恐れがあります。
- アンプからの入力とは適正な範囲でお聴きください。過大な入力は、スピーカーユニットを破損する恐れがあります。また、許容入力以下であっても、クリッピングノイズなどの多い信号はスピーカーユニットに悪影響を与えます。アンプ側でも音が歪まないようにご注意ください。

お手入れ

パネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

- ネットに付いたほこりは、洋服用のブラシなどで取ってください。
- 表面を傷める原因となりますので、化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。

△ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

お使いになる前に（続き）

⚠ 設置の注意

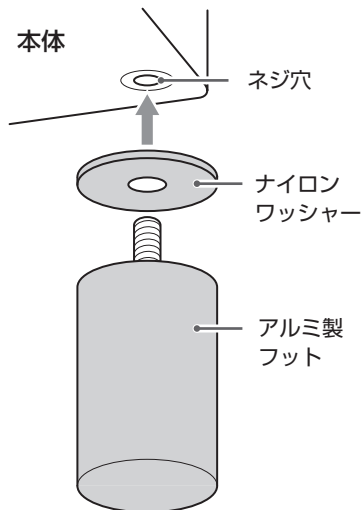
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど本機の許容動作温度を超えるような熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- 加湿器のそばなど、湿度が高い場所に設置しないでください。また、油煙が当たる場所には設置しないでください。損傷の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動する場所などには設置しないでください。落下したり倒れたりして、けがや損傷の原因になります。また、脚の高さの不揃いなどで、本体が倒れたりしないように、十分ご注意ください。
- 本機に使用しているスピーカーユニットは強力なマグネット（磁石）を使用しています。そのため、本機の上に磁気記録のカード、テープ、ディスク類、その他磁気の影響を受けやすい物を置くと磁気データの消去や破損の可能性がありますので、絶対に置かないでください。
- スピーカーシステムと聴取位置の間には、物を置かないでください。物があると直接音が遮られ、音質が変わる原因となります。
- 周囲に反射や共振を起こす物が無いことが理想です。ガラス戸などがある場合、共振を起こすことがあります。共振が起きないようにしっかり固定するか、厚めのカーテンなどで吸音させてください。
- また、平行した壁面では定在波が起きやすいため、家具を配置して平行を崩したり、厚めのカーテンなどで吸音させてください。

サブウーハーの設置

本機は、スピーカー取り付け面またはパネル取り付け面を底面にすることができます。

底面にする面の四隅のネジ穴にナイロンワッシャーを挟んで、アルミ製フットをネジ止めしてください。

- スピーカー取り付け面を底面にすると、指向性が弱くなります。
シアター用に使用する場合はこちらの設置方法をお勧めします。左右のメインスピーカーの中央に設置しなくても音場的には問題ありません。
- 左右に2台設置する場合は、ユニットを前面に向ける設置方法をお勧めします。



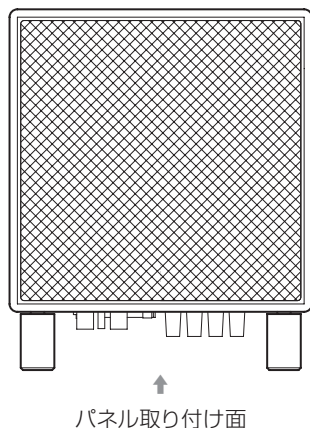
フロントグリルの取り付け

スピーカー取り付け面を正面にした場合、スピーカー取り付け面にフロントグリルを取り付けることができます。

あらかじめスピーカー取り付け面の四隅のネジ穴にグリル固定ピンをネジ止めしてください。

フロントグリル裏面の穴にグリル固定ピンを差し込み、フロントグリルを取り付けてください。

- フロントグリルを外した状態では、バッフル面にある電源インジケーターがまぶしく見える場合があります。その場合はフロントグリルを装着して、減光してください。



スピーカーケーブルについて

- 付属品、もしくは市販のスピーカー専用ケーブルをお使いください。
- スピーカーケーブルはできるだけ短いものをお勧めします。
- 左右のスピーカーケーブルは、同じ長さの物をお勧めします。

⚠ 注意

接続の前

必ずアンプの電源を切った状態で接続してください。

接続の後

アンプの電源を入れる前には、突然大きな音が鳴らないようにボリュームを絞っておいてください。スピーカーターミナルに正しく接続されているか、他のターミナルに接触していないかを再度確認してください。

接続の仕方

より線 / スリーブの場合

ターミナルの奥の穴に芯線を差し込み、つまみをしっかりと締めます。

Y ラグの場合

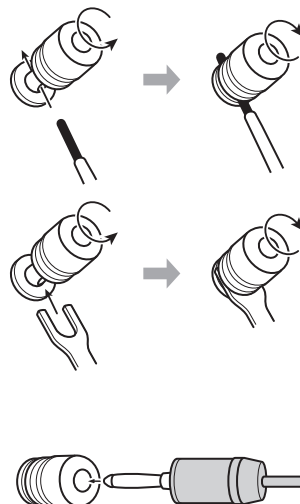
ターミナルの差し込み口に端末を差し込み、つまみをしっかりと締めます。

- Y ラグで接続する場合は、内径 8mm 以上のものをお使いください。

バナナプラグでの接続

市販のバナナプラグを使用して接続することもできます。スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグをターミナルに差し込みます。

- バナナプラグ使用時は、出荷時に取り付けられているキャップを取り外してください。
- つまみを締めた状態でご使用ください。
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。

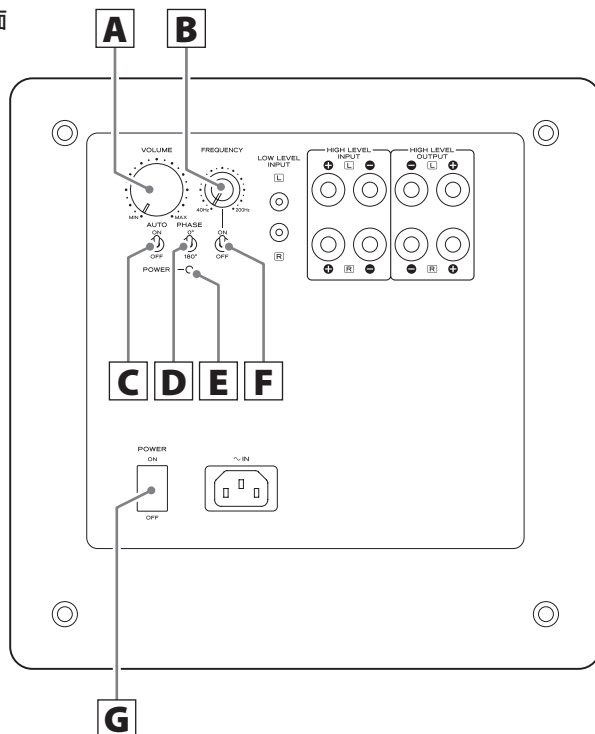


注意

パネル取り付け面を底面にする場合は、バナナプラグの使用をお勧めしません。フット分の高さしかないため、バナナプラグが床に接触して破損する可能性があります。

各部の名称

パネル取り付け面



A 音量つまみ (VOLUME)

サブウーハーの音量を調節します。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

B 周波数設定つまみ (FREQ)

ハイカットフィルターの周波数を設定します。

C オートパワーセーブスイッチ (AUTO)

ON にすると音声入力が 5 分間ないと自動的に電源がスタンバイになります。音声入力が入力されると自動で電源がオンになります。

OFF にすると常に電源がオンになります。

D 位相切換スイッチ (PHASE)

サブウーハーの位相を切り換えます。

通常は 0° に設定してください。

メインスピーカーとのつながりが悪い場合

(クロスオーバー周波数付近の音量が低いなど)は、180° に切り換えてみてください。

E 電源インジケーター (POWER)

電源がオンのとき、青く点灯します。

電源がスタンバイのとき、赤く点灯します。

電源がオフのとき、消灯します。

- スピーカー取り付け面にも電源インジケーターがあります。

F フィルタースイッチ

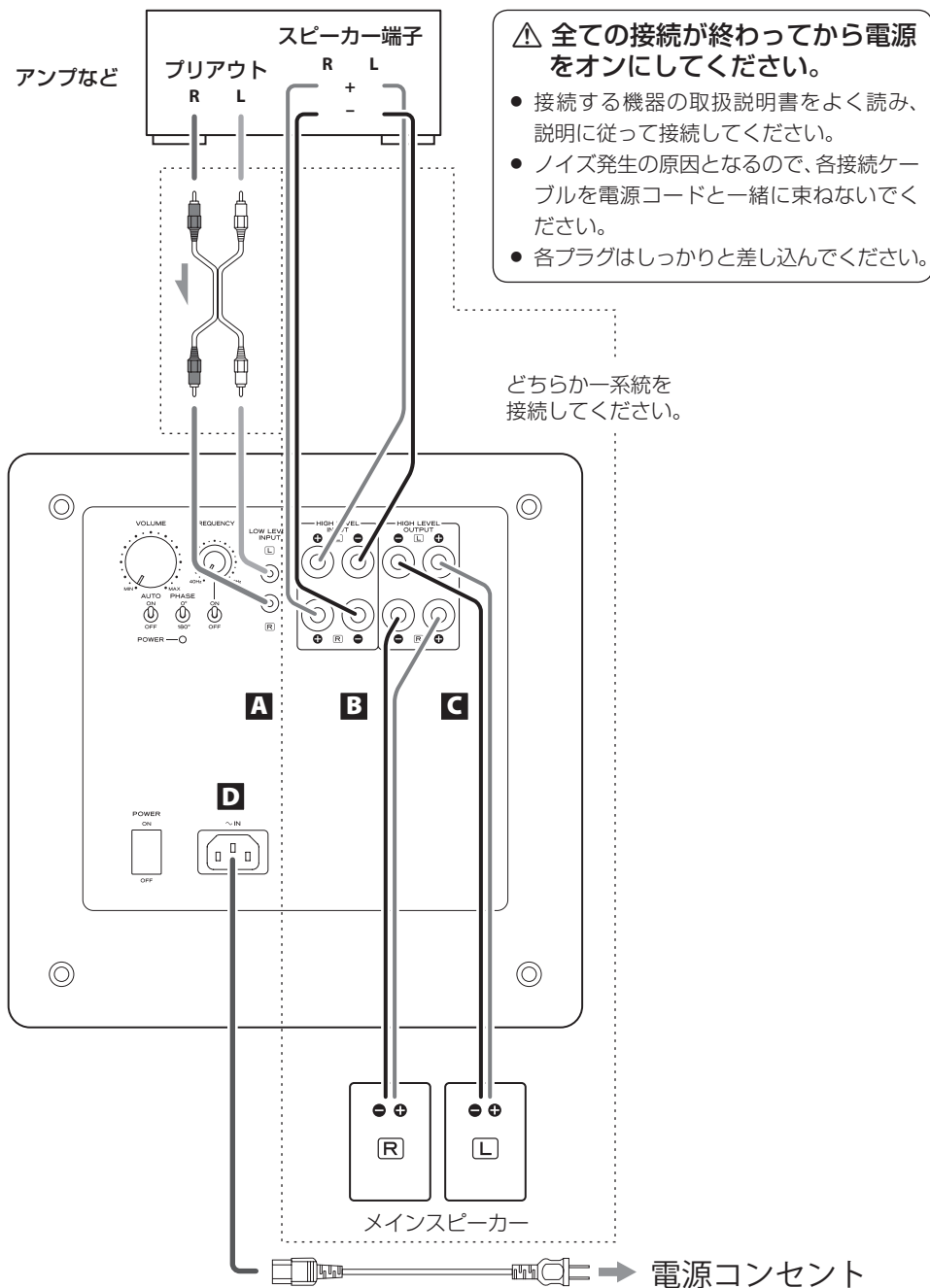
ON にすると、ハイカットフィルターが有効になります。

OFF にすると、ハイカットフィルターが無効になります。

G 電源スイッチ (POWER)

電源をオン / オフします。

接続



A 音声入力端子 (LOW LEVEL INPUT)

アンプにプリアウト端子 (PRE OUT L/R) がある場合は、アンプのプリアウト端子 (PRE OUT L/R) と本機の音声入力端子 (LOW LEVEL INPUT) を接続してください。

接続には付属または市販の RCA オーディオケーブルをお使いください。

- アンプにサブウーハー専用プリアウト端子 (モノラル) がある場合は、本機の音声入力端子 (LOW LEVEL INPUT) の L または R のどちらかに接続してください。
- メインスピーカーは、アンプのスピーカー端子に接続してください。
- 本端子を使用しない場合は、市販のショートピンを接続することをお勧めします。

B スピーカー入力端子 (HIGH LEVEL INPUT)

アンプにプリアウト端子 (PRE OUT L/R) やサブウーハー専用プリアウト端子がない場合、アンプのスピーカー端子 (ステレオ) を使用して本機と接続します。

- 入力信号は、定格を越えないようにご注意ください。

C スピーカー出力端子 (HIGH LEVEL OUTPUT)

スピーカー入力端子 (HIGH LEVEL INPUT) のスルー出力です。

アンプと本機をスピーカー入力端子 (HIGH LEVEL INPUT) を使用して接続した場合、メインスピーカーを接続してください。

D 電源インレット (AC)

付属の電源コードを差し込んでください。

全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

- ⚠ 付属の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。
また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

セッティング

接続が終わったら、各種の調節をしながらサブウーハーの設置位置を決定します。適切に設定することによって、ベース等の低域音楽表現やボーカル等、音のニュアンスに厚みを加えることができます。

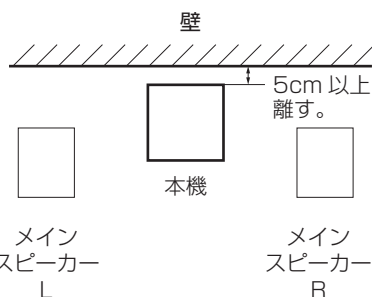
- 聞きなれたいくつかのソース（低音を含んだもの）を、いつもお聴きになる音量で再生しながら設定してください。
- 各種設定は、最初に一度設定すれば後は特に変更する必要はありません。

以下のセッティング方法の例を参考にして、セッティングを行ってください。

1 サブウーハーを部屋の壁側に設置する。

壁から 5cm 以上離し、メインスピーカー L、R の中間に設置してください。

設置例



2 音量つまみ (VOLUME) を最小 (MIN)、フィルタースイッチを ON にする。

3 周波数設定つまみ (FREQ) は、メインスピーカーの最低出力周波数よりも若干高い周波数に設定する。

例：80～20,000Hz のスピーカーの場合は 100Hz くらいが目安です。

4 アンプの電源をオンにしてから、本機の電源をオンにする。

5 ソースを再生し、通常聴いている音量にする。

この時点ではサブウーハーから音は出ていません。

6 音量つまみ (VOLUME) を調節する。

音量つまみ (VOLUME) を少しずつ右に回し、サブウーハーが目立たない程度に聞こえるように調節してください。

7 ハイカットフィルターの周波数を再度調整する。

周波数設定つまみ (FREQ) を左右に回してサブウーハーの存在が目立たないように設定してください。

8 メインスピーカーとの位相を合わせる。

位相が合うと、ハイカットフィルターの周波数付近の音量が大きくなり、位相が合わない打ち消しあって音量が小さくなります。

位相切換スイッチで 0° と 180° を切り換えてみて、音大きい方に設定してください。

以上の操作でセッティングは終了です。お好みに合わせて設定の微調整を行ってください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度確認してください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

一 般

電源が入らない (電源スイッチのインジケーターが青く点灯しない。)	電源コードがきちんと電源に接続されているか、差し込みが不完全ではないか確認してください。コンセントがスイッチ式の場合、オンになっているか確認してください。
	コンセントに他の電気機器を接続して、電気が供給されているか確かめてください。
	オートパワーセーブスイッチ(AUTO)がONのとき、サブウーハーに5分以上音声が入力されないとスタンバイ状態になり、電源スイッチのインジケーターが赤く点灯します。
ブーンというノイズが聞こえる	接続ケーブルの近くに電源コードや蛍光灯等がある場合は、できるだけ遠ざけてください。
急に音が出なくなった	発熱により保護回路が動作したと考えられます。 一旦電源スイッチをオフし、数分経ってから再度電源を入れてください。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じてても、当社は一切の責任を負いません。

スピーカー部

型式 正面・底面置きフロア型 (密閉型)
 使用ユニット 20cm コーン型
 インピーダンス 8Ω (4 層ボイスコイル)
 実用最大入力 150W (8Ω、JEITA)
 定格入力 80W (8Ω、JEITA)

アンプ部

入力端子
 RCA ピン (LOW LEVEL INPUT)
 入力インピーダンス 15kΩ
 SPEAKER 端子 (HIGH LEVEL INPUT)
 入力インピーダンス 200Ω
 バランス入力

定格入力 VR : MAX

 RCA ピン - 19dBV (112mV)
 (L または R 片方接続時)
 - 22.5dBV (75mV)
 (L と R 接続時)
 SPEAKER 端子 +10dBV (3.2V)
 (L または R 片方接続時)
 +4dBV (1.6V)
 (L と R 接続時)

出力端子

 SPEAKER 端子 (HIGH LEVEL OUTPUT)
 入力スルー

機能 音量調整ボリューム
 ハイカット周波数切換スイッチ . . ON/OFF
 ハイカット周波数 40 ~ 200Hz
 可変ボリューム
 (ハイカット周波数切換スイッチ OFF 時は
 40Hz ~ 20kHz)
 位相切換スイッチ 0/180°
 AUTO POWER. . . ON/OFF 切換スイッチ
 定格出力 72W (8Ω、JEITA)
 周波数特性 40 ~ 200Hz/ - 3dB

一般

電源 AC 100V 50-60Hz
 消費電力 18W
 待機時消費電力 0.1W
 外形寸法 (W × H × D)
 スピーカー正面配置時
 270 x 320 x 300mm
 スピーカー底面配置時
 270 x 320 x 291mm
 (突起部含む)
 質量 9.6kg
 許容動作温度 + 5℃ ~ + 35℃
 許容動作湿度 5% ~ 85%
 (結露のないこと)

付属品

電源コード x 1
 フロントグリル x 1
 グリル固定ピン x 4
 アルミ製フット x 4
 ナイロンワッシャー x 4
 RCA オーディオケーブル (3m) x 1
 スピーカーケーブル (3m) x 2
 クリーニングクロス x 1
 取扱説明書 (本書、保証書付き) x 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

よくお読みください

■保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。保証期間はお買い上げ日より 1 年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）、もしくは代替製品を製造後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社 AV お客様相談室（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

13 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。

測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他：製品を送るために必要な送料 / 梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：サブウーハー SW-P300

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況（できるだけ詳しく）

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

保証書

品名	サブウーハー
および 形名	SW-P300
機番	
保証期間	本体 1年

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お買上げ日	年 月 日
お客様 お名前	様
ご住所	
電話	()

所在地・名称(印)	
販売店	本
電話	()

見

本

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
- ご転居、ご贈答品等でお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

- メンテナンス
- 本書の提示がない場合
- 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47 <http://teac.jp>

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせ

AV お客様相談室

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～12:00/13:00～17:00です。
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。

(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。